

## 令和6年度(2024年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和6年(2024年)1月]

評価調書作成者 [ 河川課長 仲田裕一郎 ]

## 事業プロフィール

## 【事業概要】

事業名	川辺川大規模特定河川事業
事業箇所	相良村柳瀬 ~ 相良村川辺
事業担当課(室)	土木部 河川課 (流域対策班 内線53777)
事業期間	令和6年度~令和10年度(5年間)
総事業費	800百万円(うち県費 400百万円)
事業内容	延長5.2km、掘削工、築堤盛土、護岸工
事業目的	川辺川は熊本県八代市泉町の雁俣山を源流とする球磨川の右支川であり、八代市泉町と五木村を貫流し、相良村で球磨川に合流する。本川は、昭和38年~40年の3カ年連続の集中豪雨、平成16年~19年の4ヶ年連続の豪雨、令和2年豪雨等、度重なる洪水被害が発生しており、川辺川沿川の浸水被害の軽減を図り、さらに国が整備する「川辺川の新たな流水型ダム」の適切な運用に資する河道の整備を計画的・集中的に実施することで、川辺川のみならず球磨川水系全体の治水安全度の向上を図ることを目的とする。

## 【現況写真】



(令和2年7月豪雨の出水状況)  
大型の線状降水帯が発生し、さらに、およそ13時間にわたり停滞したことにより記録的な総雨量(柳瀬331mm/12h、宮園橋364mm/12h)をもたらし、川辺川沿川では191戸の家屋、道路、農地等の浸水被害が生じた。

## 【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 1.1
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">           事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む)         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を行わない場合、2年に1度の割合で、家屋6戸及び66haが浸水する。</li> <li>・生起確率30年の降雨に対する想定氾濫区域の検討及び費用対効果の比較を行った。</li> </ul>
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防から水際部に降りる階段や斜路を整備する区間を設け、人が河川とふれあえるように親水性に配慮する。</li> <li>・まちづくり計画と連携した川づくりに地域と一体となって取り組む。</li> </ul>
関係法令等の手続きの把握・完了状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境配慮システムによる環境配慮が必要。</li> </ul>

## 【 周辺状況 】

関連事業	川辺川ダム建設事業(事業主体:国)
市町村、地元の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五木村や相良村などから安全・安心を確保するための河川整備を求める要望あり。</li> <li>・住民からも説明会等において、早期の治水対策を求める要望がよせられている。</li> </ul>
説明会の開催状況と関係者の意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年10月に河川整備に関する説明会を開催。相良村や住民からは河川改修に対する反対意見は無く、早期の安全・安心を求める意見がよせられている。</li> </ul>

## 【環境影響】

## ① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

## ② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

## ③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

## ④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	有 〔配慮する〕

## 事業評価

: 共通指標

## 【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	4
	② 市町村合併支援	5	0
	小 計	10	4
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④ 想定氾濫区域内の宅地状況	10	10
	⑤ 重要な公共施設等の有無	5	5
	⑥ 想定氾濫区域内の農耕地状況	5	5
	小 計	25	24
緊急性	⑦ 平時の活動阻害	15	15
	⑧ 浸水被害の頻度	10	10
	⑨ 人的被害の有無	10	10
	⑩ 他事業関連(圃場整備、まちづくり等)	5	5
	⑪ 交通に対する影響	5	5
	小 計	45	45
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	20	12
	小 計	20	12
合 計		100	85